

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第4回金谷区地域協議会

2 報告（公開・非公開の別）

（1）金谷地区公民館の移転整備に係る進捗状況について（公開）

3 議題（公開・非公開の別）

（1）出張地域協議会について（公開）

（2）「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項の検討について（公開）

4 開催日時

令和5年8月30日（水） 午後6時から午後7時9分まで

5 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

6 傍聴人の数

1人

7 非公開の理由

—

8 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：村田敏昭（会長）、川住健作（副会長）、山井広子（副会長）
阿部清隆、石川美恵子、大瀧幸治、加藤國治、小林雅史、高橋敏光、
高宮宏一、長 和子、平良木美佐江、益田侑季（欠席3人）
- ・ 社会教育課：宮崎参事、竹内副課長
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 大島所長、石黒係長、難波主任

9 発言の内容

【難波主任】

- ・ 神崎委員、高橋 誠委員、土屋委員を除く13人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告。

【村田会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：高橋敏光委員、小林委員に依頼
補欠委員選任について、事務局に説明を求める。

【難波主任】

金谷区地域協議会補欠委員の選任について説明する。山本一男委員の辞職により令和4年9月6日から1名が欠員となっていた。補欠委員の選任に向けて、村田会長と協議した中で、阿部清隆委員に就任をいただくことになった。任期は、上越市地域自治区の設置に関する条例第5条第5項の規定により、令和5年7月4日から令和6年4月28日までである。

【村田会長】

阿部委員に挨拶を求める。

【阿部委員】

- ・ 挨拶

【村田会長】

阿部委員を含めて定員の16名になった。令和4年9月から1名欠員であったところが今回埋まったということで、改めてご承知おきいただきたい。

次に、次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【大島所長】

- ・ 配布資料の確認
- ・ 次第に基づき、議題の確認

【村田会長】

- ・ 「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし。

— 次第3 報告（1）金谷地区公民館の移転整備に係る進捗状況について —

【村田会長】

次に、次第3 報告（1）金谷地区公民館の移転整備に係る進捗状況についてに入

る。

【社会教育課：宮崎参事】

- ・当日配布資料No.1により説明

【村田会長】

- ・担当課の説明に質疑を求める。

【石川委員】

異常気象が続いており、海水温が上がっていることから豪雪も覚悟しなくてはならないのではないかと思っている。いろいろな説明会でいつも気になるのだが、鉄筋平屋建ての予定であるが、二階建てにしてほしいという要望はなかったのか。

【宮崎参事】

いろいろな建て方がある。最近、大きな公共施設では、あまりない状況である。他の施設もそうだが、基本的には平屋建てでオープンスペースを含めて利用者が階段などを使わなくてよいような形の公民館を考えている。

【石川委員】

承知した。それから、多目的トイレに大人用のベッドを設置するとあるが、多目的トイレは1か所なのか。先日、スウェーデンに住んでいる日本人と話す機会があった。スウェーデンでは、男女平等がとても進んでいる。LGBTの人で男性用、女性用どちらのトイレを使用するか悩む人がいると聞くが、そういった問題はスウェーデンではどうなっているのかと質問したら、いとも簡単に「男女でトイレは一緒である」と言われた。意味がわからなかったが、全部個室なので男性でも女性でも問題はない。男性だとか女性だとか、そもそも考えなくてよいということである。今度、新しいものを造るときは、ぜひそういう個室のトイレを考えていただけたらこれからの世の中の先駆的な形になるのではないか。全部が多目的トイレのようなものなので、男性も女性も関係なく順番に入るだけだという答えですごく驚いた。そのようなことも考えて、今回は無理かもしれないが、これから建物を造るときはぜひ参考にしてほしい。

【宮崎参事】

今回の設計では、多目的トイレは1か所だが今後、施設を建設する際には必ずと

いう約束はできないものの、そのような意見を考慮しつつ施設の整備を考えていきたい。

【村田会長】

他にどうか。

【阿部委員】

資料の裏面に記載されているスケジュールによると、3月議会で最終的に議案を提出して発注ということになる。先ほどの説明では工事費が約5億円になるということだが、工期はどのくらいを見込んでいるのか。

【宮崎参事】

現在の工期としては、3月に議決をして本契約をしたあと4月の年度明けから工事着工となる。予定としては、令和7年の1月に完了となるのでその間の工期となる。

【村田会長】

2月に行われた地域の利用者、団体を対象にした説明会に来ていただいた団体等への説明、報告はどのような形で行われる予定なのか教えてほしい。

【宮崎参事】

説明会にお越しいただいた団体については、連絡先を把握しているので再度、声かけをして集まっていたいて、結果の説明をしたいと考えている。まだ設計が上がってきていないので、上がってきた段階でスケジュールを検討し、説明会を開催したい。

【村田会長】

要望を出した団体への説明を行う時期は、年内か。それとも年度明けか。

【宮崎参事】

今後のスケジュールにあるとおり令和5年9月末から工事の発注の準備を進める。それが過ぎれば皆様にお話しできるようになると考えており、その段階で日程を合わせて説明会を開きたい。

【村田会長】

令和5年度内には行われるということか。関心のある事案なので、できるだけ早

い時期に説明できるよう進めていただければと思う。

【小林委員】

説明会での意見、要望を踏まえた対応で改善した取組を五つ紹介いただいたが、逆に意見はいただいたが対応しないというものも我々は知りたい。全てのいただいた意見に対して、ここはこういう理由で採用、ここはこういう理由で不採用といったところもできれば情報として説明していただきたかった。

【宮崎参事】

いただいた意見については、おおむね採用したが、例えばトイレの位置を入れ替えてほしいとの要望があったものの、トイレはどうしても水回りを集中させる必要があるため動かすことができなかった。そこが変更できなかった点である。

【高橋敏光委員】

建物自体の設計は、だいたい決まっていると思うが、中の備品はどのような備品を購入するか、地域と話し合う場面はあるのか。

【宮崎参事】

建物の中で使う備品については、設計の段階で併せて発注の準備をしなければならぬため、既に選定に入っている。その選定については、設計の中に含める部分もあるし、含めない部分は市の備品として対応し、別途発注するという段取りをしている。具体的にここをこうするというところまではいっていないが、中で使う机や椅子については、我々のほうで備品として対応することで検討している。

【高橋敏光委員】

例えば、大広間をフローリングの床にするとどれくらいの数の机と椅子を置くとか、折り畳み式の見栄えのよいものをどのくらい用意するとか、そういったものはこれから決めるのか。

【宮崎参事】

椅子、机については、設計の段階で収納するスペースを検討する必要がある。100人規模の収容人数の集会室を予定しているので、その人数に対応できる台数を確保し、収納スペースの中に入る大きさの机を選定しており、これらは備品としての対応で検討している。

【村田会長】

建設費が5億円というと、大変高額な建物のような気がする。1㎡当たり80万円、1坪260万円という金額である。

【石川委員】

何でもかんでも物価が上がっている。これから備品を調達すると、また物価が上がっていくのではないか。本当に5億円もかかるのかを精査し、業者に確認してほしい。余計なお世話かもしれないが、ますます予算が上がらないようにしていただきたい。

【宮崎参事】

昨今、物価が上がっているというのは、どこもそうである。物価が上がったという事情は当然あるが、市役所の仕事の場合は、設計をきちんとして、まず設計金額を出す。そのあと入札して競争し、最終的に業者を決めていくということになるので、業者の言い値で契約するわけではない。その点は、しっかりと進めていけると思っている。ただ、始めたあとに物価高騰があったときには、その分がかかってくるということは当然あり得る。その部分は、よく検討していく必要があると思っているが、現状では、設計額に対して入札をするので、その対応はきちんとしていけると考えている。

【石川委員】

承知したが、入札ではその辺りから検討してほしい。

【村田会長】

以上で、次第3 報告(1) 金谷地区公民館の移転整備に係る進捗状況についてを終了する。

(社会教育課 退席)

— 次第4 議題(1) 出張地域協議会について —

【村田会長】

次に、次第4 議題(1) 出張地域協議会についてに入る。

前回の会議では、昭和町2丁目町内会館で出張地域協議会を開催することとしたが、その後に事務局と再検討した結果、地域の関心が高い新しい金谷地区公民館に関する報告を受けるとなると傍聴人が増えることも予想されるため、会議室の収容人数や駐車場を考慮して、8月の今回の会議の会場を福祉交流プラザに変更した。このため、改めて出張地域協議会を開催する時期を決める必要がある。地域住民へ周知する時間を考慮し、第6回の10月の地域協議会を出張地域協議会として昭和町2丁目町内会館で行いたいと考えているがよろしいか。

過去に開催した出張地域協議会では、地域住民との意見交換を行うのが定例となっている。本日、新しい金谷地区公民館に関する報告を受けたため、公民館以外の意見交換のテーマ、地域課題などについて、皆さんから意見をいただきたい。まず、昭和町2丁目の町内会長である阿部委員、いかがか。

【阿部委員】

今のところテーマは思い浮かばないので、皆さんからこのようなテーマでどうかという話があれば、ぜひそれでやっていただければよい。

【村田会長】

他の皆さんはいかがか。テーマが特になければ、自由に討論していただくこともできるかどうか。

【小林委員】

地域協議会だよりも金谷区の「地域活性化の方向性」が掲載された。これについて、昭和町で既にいろいろ活動されている団体等から例えば「今後このような応援を受けたい、このようなことで困っている」という実情や「構成要素に対して我々はこのような提案ができる」といった情報を聞く場とすれば有意義になるのではないか。

【村田会長】

昭和町2丁目は、金谷地区で最も世帯数の多い町内会である。本当に大きな町内会で、今年度も他の町内会の模範となるような活発な活動、行事を運営されている。うらやましいくらいの規模の夏祭りを実施し、地域を活性化するまさにモデル地区と言ってもよいくらいの町内会である。小林委員が言われたように、町内会でこの

ようなことを行っていると説明していただければ、地域協議会も何か協力できる状況になるかもしれない。町内会の役員から出席いただいて、昭和町2丁目町内会の活動内容や組織の概要を話していただくのも一つの方法だと思う。我々16人が全て昭和町2丁目のことを承知していないし、教えていただくことも一つのテーマかもしれない。

特に9月、10月は、行事が盛んに行われる月間なのでその辺のことも併せてお話しをいただければありがたい。基本的には、特にテーマを決めないで自由に討論していただく場として意見をいただき、あるいは町内会から行事の概要の説明をしていただくことで臨みたい。

第6回の地域協議会を出張で行うということで了解いただけるか。テーマについては、特に意見がないので自由に意見を求めるということで進めたい。この二点について、皆様から了解をいただきたいと思うがいずれもよろしいか。

(よしの声)

以上で、次第4 議題（1）出張地域協議会についてを終了する。

— 次第4 議題（2）「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項の検討について —

【村田会長】

次に、次第4 議題（2）「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項の検討についてに入る。

前回の会議で、ヨーデル金谷を経営する株式会社ミーナハライペと意見交換をしてはどうかという意見が出された。これについて、委員一人ずつ順番に意見を求める。

【山井副会長】

ミーナハライペに地域活性化のためのアイデアについて聞いてみたい。

【益田委員】

5月の地域協議会で行われた報告を聞き、公民館が新築されるのでヨーデル金谷

とも一緒にコラボした活動ができるのではないかと思った。こちらからいろいろな意見を出したうえでミーナハライペの考えも聞きたい。

【平良木委員】

いろいろな活動をされている団体がこの地域にあり、歴史に関することや環境整備をされている団体のいろいろな意見を聞きながら議論を進めるのはよいことである。その一つとして、先に挙げたミーナハライペと話し合いをすることもよいと思う。また、さらに金谷山を中心にしたいろいろなことで私も視野を広げていくきっかけにしていけたらよい。

【長委員】

私もミーナハライペとの話し合いを足がかりに他の団体とも同様の協議ができれば、地域活性化の案について様々なアイデアが出てくるのではないかと思う。

【高宮委員】

これを機に、いかに金谷区の地域活性化につなげるかという議論を大に行うべきである。

【高橋敏光委員】

金谷区は、広い地域で山間部もあれば道路が細かいまじり目状になっている住宅地もある。冬の道路の除雪の問題があり、私の住む御殿山町や昭和町1、2丁目には狭く混み合っている道路があって、民家が密集しているため、排雪する場所がないのが問題点ではないかと思っている。一昨年の大雪の際は、生ごみの収集もできなくなり、11日間、車が通れなかった。また、地球温暖化と言われているが、逆に暑い夏になると冬は大雪になるという話もあるので、雪対策について少し考えていかなければならないと考えている。各町内会の事情を聞いたうえで討議していきたい。

【小林委員】

「地域活性化の方向性」の構成要素として、これからの情報発信や各種団体の交流、ボランティアの確保など重要な要素が記載されているが、公民館が完成するまでの間もミーナハライペ等にも協力をいただければ、情報を広めるために店舗の一部をお借りしたり、関連している大学生のアルバイトの方々とボランティア活動に

ついでの話をしてしたりするなど非常に有益なので、一刻も早く意見交換ができればよい。

【加藤委員】

リフレ上越山里振興株式会社の従業員だった方が引き続き営業をされているとのことなので、ぜひ今後の営業をどのようにされるのか聞いてみたい。地域協議会からも何か提案等があればお伝えすることができる機会となるため、意見交換に賛成である。

【大瀧委員】

「地域活性化の方向性」は、なかなか難しいと思う。現在、私たちは金谷区の地域協議会委員だが、まだまだ昔の大字であった時の意識が強いため、同じ問題を何回か取り上げて議論していくようにしてほしい。時間はかかると思う。

【石川委員】

ヨーデル金谷は、金谷区が一番目立つ場所にあり、立地が非常によい。話し合いを進めていた最初には、ヨーデル金谷と新しい公民館を中心としたところにビジターセンターのような発信基地を設けて、そこに産直市場を置くという話があったが、実現は難しい気がする。ヨーデル金谷を経営する会社の名前がミーナハライペで、みんながお腹いっぱいになるという意味だそうだ。誰もが気軽に利用できるような手頃なメニューの考案を提案してみたい。

【阿部委員】

金谷区が抱えている課題は何なのかというところから出発していかないと、ヨーデル金谷の立ち位置がはっきりしないと思う。そこを整理していかなければならない。令和7年度末には、金谷区の拠点施設となる金谷地区公民館が竣工する。そこが発信基地にもなるし、公民館を活用していくというのは大前提だと思う。そのために、いろいろな団体がヨーデル金谷ともコラボできるのであればそれに越したことはない。ヨーデル金谷からどのような役割を担っていただくのかは、金谷区の課題が見えた段階で初めてはっきりするのだと思う。これからミーナハライペと何を焦点に話し合いをするのか、今回初めて地域協議会に出席して聞いている中では見えてこない。その辺りを整理した上でステップを踏んでいかないと、抽象的な話で

終わってしまうのではないか。

【川住副会長】

ミーナハライペの社長と以前、話しをする機会があったが、その際に社長から「地域の皆さんと交流したい」と聞いた。ヨーデル金谷は、交通量の多い山麓線に面し、金谷区の中心に店を構えている。将来、新しい公民館ができた場合、お互いに協力してやっていくことが一番の得策になるのではないだろうか。社長は「地産地消、野菜等の販売もしたい」とも話されていたので、今から交流を図りながらその辺りについても細かく聞いて進めていってもよいのではないか。

【村田会長】

皆さんの意見をお聞きした。地域の団体、地域の会社等々のお話し、意見をいただきながら地域活性化へ結びつけていきたいということが最終的な狙いである。まず、出発点をヨーデル金谷とすることで皆さんの意見をお聞きした。ミーナハライペにも伺いを立てながら、今後どのように進めたらよいか正副会長と事務局で協議し、次の会議へつなげたい。「地域活性化の方向性」と書かれていても、まだ具体的なものが見えてこない。大瀧委員が言われるように、時間もかかるし容易ではないことを承知しているが、まず一步を踏み出していきたいと考えているので、御理解をお願いしたい。

【高橋敏光委員】

地域活性化の話をしているが、他の地域と比べれば金谷区は活性化していると思う。正善寺ダム、あじさい祭り、正善寺工房でもいろいろな団体が活躍している。飯地区では、商店も医院もだいぶ増えてきている。平山地区では、大型ショッピングセンター等の商業施設が発展している。金谷山のふもとに新しい金谷地区公民館ができるが、昨年、金谷地区振興協議会から市へあの場所にクラフトビールの工房を作ってくださいという要望書を提出した。予算の見通しが無いというあまりよくない返事だった。金谷地区は、金谷山を中心に動いている。新しい公民館もあの場所となりよかった。金谷山も会津墓地も訪れる人は増えている。それから、上中田と灰塚にもショッピングセンターがあり、団地もできて活性化している。他の地域と比べ人口の減り具合が少なく維持できている。大変すばらしい金谷地区ではない

かと思っている。これ以上に活性化を進めることは、もう一歩前に進まないといけないと思う。ただ、農村、山間地では人口が減っている。市街地ではそれほど減っていないという状況なので、その辺も皆さんと話していければよい。

【村田会長】

以上で、次第4 議題（2）「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項の検討についてを終了する。

— 次第5 事務連絡 —

【村田会長】

次に、次第5 「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【大島所長】

- ・ 第5回地域協議会：令和5年9月27日（水）午後6時から 福祉交流プラザ
- ・ 第6回地域協議会：令和5年11月1日（水）午後6時から 福祉交流プラザ
- ・ 当日配布資料： 新道区、春日区、高士区、安塚区、直江津区、大島区、清里区地域協議会の「地域活性化の方向性」
大潟区地域協議会の意見書
「上越まるごと文化祭」パンフレット

【村田会長】

- ・ 会議の閉会を宣言

10 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。